



20250217

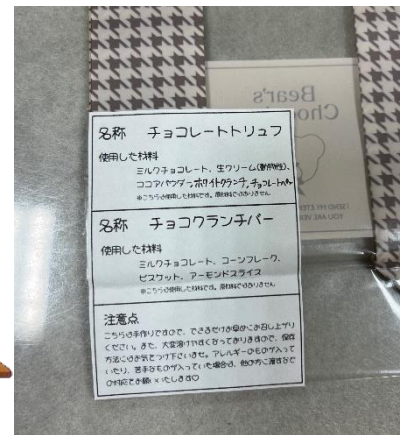
校長の戯言 月 No.18 月 SEISHUKAN あ・ら・かると

鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優



■バレンタインに手作りチョコレート

本校の三年生で4月から県外の四年制大学の食物栄養学部に進学する生徒がいる。この生徒は二年生の時には地域の「唐浜らっきょ」について、聞き書きで調査・研究に取り組み研究記録も残している。高校入学後に食物に関する興味関心が高くなり、日頃の食事や家族内の料理にも積極的に関わってきたらしい。今年のバレンタインの日に私に手作りチョコレートをプレゼントしてくれた。この手作りがチョコレートだけでなく、パッケージに添付してある食品記載事項まで丁寧に作ってある。将来は食物に関わるあらゆる立場で、色々な仕事がしたいと話していた。生徒たちの興味関心はいつ・どこで・どのように開花するか分からない。それだけ可能性を秘めた生徒たちが本校には入学してくる。



■MBC「てげてげハイスクール フェスティバル 2025」～うた自慢大会“優勝”～

※日時：令和7年2月15日(土), 16(日) 於：AMU広場(鹿児島中央駅)

本校の生徒が「てげてげ杯!高校生ガチンコうた自慢大会」に出場した。一日目の予選Aグループで優勝し、二日目の予選Bグループの優勝者と二人で決勝戦を行うという過酷なうた自慢大会であった。一日目は、MISIAの「逢いたくていま」を歌い【90.332点】で一日目の優勝者となる。二日目の決勝では、HYの「365日」を歌い【91.732点】で優勝し、今回のスポンサーである川商ハウスさんより「川賞」を受賞した。彼女の歌声を初めて聞いたのは一昨年の文化祭であった。全音域に無理のない発声であり、ファルセットがスムーズで声質がぶれない素晴らしい声であった。そして、昨年の文化祭が二回目であった。この時には声だけでなく、フレージングやヴィブラートに磨きがかかった歌唱を聴かせてくれた。今回の大会では更に表現力が高くなり、これまでに完成されつつあった発声、フレージング、ヴィブラートの完成に加え、丁寧な言葉の乗せ方が絶妙な表現力が加わった。素晴らしく歌唱能力の高い生徒である。これからの彼女の動向が見逃せない。

